

サムエル



暗唱聖句は、日本聖書協会の新共同訳聖書と
2とおりのせています(上・新改訳 下・新共同訳)

主よ、お話しください。
しもべは聞いております。
I サムエル 3: 9

主よ、お話しください。
しもべは聞いております。
サムエル上 3: 9

サムエルは小さいころから、神さまのご用をするために祭司のエリのそばでくらししていました。あるばん、ぐっすりねむっていると、声が聞こえました。「サムエル、サムエル。」サムエルはエリのところに走っていきました。「先生、ご用ですか?」「いいや、よばないよ。」こんなことが3回もつづくと、エリはようやく気がつきました。「神さまのお声にちがいない。今度よばれたら、『主よ、お話しください。しもべ(わたし)は聞いております』とお返事なさい。」4回めによばれた時、サムエルは教えられたとおりに答えました。そして耳をすましていると、神さまが大切なことを教えてくださいました。

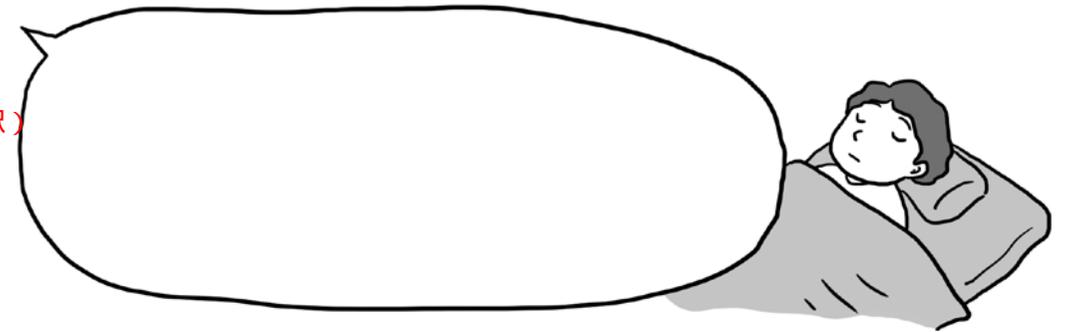
お祈り わたしも、耳をすまして神さまのお話を聞きます。

各設問は、上記の文中を読んで答えます。

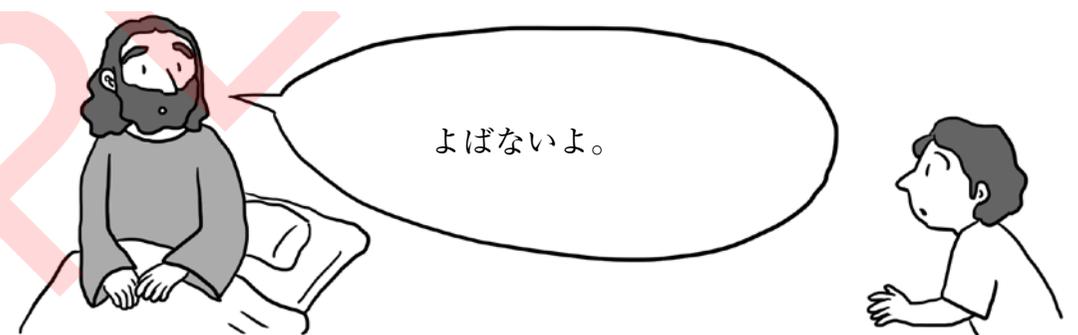
1 サムエルは、だれのそばでくらししていましたか。

祭司の

2 ねむっている時、どんな声が聞こえましたか。



3 サムエルは、だれによばれたとおもいましたか。



4 サムエルをよんだのは、どなたでしたか。

5 4回めに名前をよばれた時、サムエルは何と答えましたか。

やがてサムエルは、りっぱな預言者になりました。預言者とは、神さまのことばを聞いて、それを人々につたえる仕事をする人のことです。サムエルは、イスラエル人たちが神さまにしたがうように、ねっしんに教えました。

水の上を歩く



信仰の創始者であり
完成者であるイエスから、
目を離さないでいなさい。
ヘブル 12:2

信仰の創始者また
完成者であるイエスを
見つめながら。
ヘブライ 12:2

イエスさまの弟子たちは力いっぱいふねをこぎましたが、向かい風でなかなか前に進めません。夜明けが近づいたころ、水の上を歩く人のすがたが見えました。「ゆうれいだ！」すると声が聞こえました。「わたしです。こわがることはない。」「イエスさま！」ペテロが、ふねから身を乗り出して言いました。「わたしに命じて水の上を歩かせてください！」「来なさい。」ペテロは水の上に足を下ろすと、イエスさまのお顔を見つめて一歩、二歩。ところが、ビューッとふいてきた風に気を取られたとたんにおぼくおぼくしずみかけました。イエスさまが手をのばしておっしゃいました。「うたがわないうで、わたしを信じなさい。」

お祈り いつもイエスさまに目を向けて生活します。

1 イエスさまは、どんなふうにして弟子たちのところにいらっしゃいましたか。

2 ペテロが「水の上を歩かせてください」と言ったのは、なぜでしょう。

- ① () おもしろそうだから。
② () イエスさまのめいれいどおりになると信じていたから。

3 2枚の絵の、ちがうところを5つ見つけましょう。



4 風に気を取られた時、ペテロがしずみかけたのはなぜだと思いますか。

5 イエスさまのことばの下に線を引いて、注意深く読みましょう。